

■景域に含まれる支庁及び市町村

石狩支庁 札幌市・江別市・石狩市・恵庭市・千歳市・北広島市  
 後志支庁 小樽市  
 胆振支庁 苫小牧市・登別市・室蘭市・追分町・早来町・厚真町・白老町・鶴川町・穂別町

■景域を構成する景観ゾーン

㊦内浦湾東部湾岸景観ゾーン ㊧道都圏都市景観ゾーン ㊨勇払平野東部田園景観ゾーン

■景域における現況

観点 要因・背景	自 然	田 園	ま ち	広域湾岸景観・広域沿道景観・広域流域景観 (自然・田園・まちの関係性)	北 国 ら し さ の 創 出 (その他・活動等)
場所的要因 位置 地形 植生	<ul style="list-style-type: none"> <li>○支笏・洞爺国立公園を中心とした原生的自然が都市圏に近接している</li> <li>○石狩湾や太平洋などの海の自然にも恵まれている</li> <li>○豊平川など河川流域のいくつかは、市民の親水空間やスポーツ・レクリ・散策等の場となっている</li> <li>○渡島の飛来地ウトナイ湖はバードサンクチュアリになっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○札幌市近郊には都市近郊型の農地が営まれており、都市住民に潤いをもたらす田園風景を創り出している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○石狩平野に広がる札幌を中心とした、小樽・江別・恵庭などの市街地は、道都の都市軸を形成している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○苫小牧から登別・白老に至るまでの36号沿道から、太平洋の水平線が望める</li> </ul>	
空間構成的 要因 広がり 土地利用 まとまり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○都市部の身近なところに、野幌や滝野などの自然環境があり、市民に親しまれている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○石狩平野や勇払原野など、ほぼ平坦な低地帯のなかで水田や畑作、小規模酪農等の農地が広がっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○勇払原野と太平洋沿岸には、国道36号を軸として苫小牧・白老・登別・室蘭と市街地が連担している</li> <li>○国道5号・12号・36号など主要な広域幹線道路沿いに郊外型大型施設が連なっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○都市圏拡大の中で、農地を浸食しつつあり、景観変化が急速に広がっている</li> <li>○長万部まで開通した高速道路が沿道軸景観を形成している</li> </ul>	
人文的社会的 背景 産業経済 生活文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○樽前山、恵庭岳等は広域的なシンボルである</li> <li>○地域のシンボルとしても札幌の手稲山、小樽の天狗山、室蘭の測量山などがある</li> <li>○支笏湖周辺、定山渓、朝里、登別などに温泉が点在している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○早来周辺では、芝生産業などが行われている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○寒冷多雪な気候条件の中に都市人口が集中し、世界に類を見ない北方型都市圏を形成している</li> <li>○小樽市の運河や歴史的な街並みは、観光資源となっている</li> <li>○ビルが立ち並ぶ都市的景観は、道央地域の景観を特徴づけている</li> <li>○室蘭・苫小牧・白老の工業都市景観は、産業景観として、道内では際立っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小樽港、石狩新港、室蘭港、苫小牧港等の港湾施設、工場群、工業団地等がダイナミックな産業景観を創り出している</li> <li>○新千歳空港や苫小牧フェリー港など、北海道の玄関口となる拠点がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○開拓当初よりの近代産業の歴史があり、現在も北海道の基幹を占めている</li> </ul>
時間的歴史的 背景 歴史性 季節 時間		<ul style="list-style-type: none"> <li>○開拓当初から、道都近郊の農業地であった名残がうかがわれる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○札幌市は、計画的に区画された格子状の街区を特徴とするまちで、現在では170万人の人々が暮らしている</li> <li>○藻岩山からの札幌の夜景、毛無峠からの小樽の夜景などが「都市」と「時間」の「視点場」の関係によって成り立っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○明治以降の開拓の中で急速に都市化したが、洋風のエキゾチックな歴史的遺産も多く、近年は、保存・復元・活用が図られ、観光振興や街並み景観に寄与している</li> <li>○開拓の早い時期に鉄道が開通し、都市間を結んでいた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○雪や氷を生かした、冬のイベントが多い</li> </ul>
典型的 景観資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>○支笏洞爺国立公園(支笏湖・倶多楽湖・樽前山・恵庭岳・空沼岳・無意根山・中山峠)</li> <li>○道立自然公園野幌森林公園</li> <li>○滝野すずらん公園</li> <li>○石狩川 ○ウトナイ湖</li> <li>○千歳川 ○石狩浜</li> <li>○地球岬</li> <li>○礼文華海岸</li> <li>○測量山</li> <li>○手稲山</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○都市近郊に広がる田園地帯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○170万人の人々が住む大都市圏を形成している札幌</li> <li>○歴史的街並みが情緒ある小樽</li> <li>○自然と工業の近接する室蘭</li> <li>○煉瓦のまち江別</li> <li>○登別・白老</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○玄関口としての役割を果たす拠点 ・新千歳空港/丘珠空港</li> <li>○産産港としての役割を果たす拠点 ・石狩湾新港/苫小牧港/室蘭港</li> <li>○広域軸としての役割を果たす沿道 ・国道12号/国道36号/国道5号</li> <li>○恵庭・千歳のビール工場</li> <li>○登別のパルプ工場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○石狩防風保安林</li> <li>○江別鉄道防風林</li> </ul>

■景域の景観特性・課題・景観づくりの取り組み方向

観点 要因・背景	自然	田園	まち	広域湾岸景観・広域沿道景観・広域流域景観 (自然・田園・まちの関係性)	北国らしさの創出 (その他・活動等)
景域の 景観特性	○支笏洞爺国立公園を中心とした原生的自然。石狩湾、太平洋等の海の自然。札幌都市部に近接した部分的な原生林等の自然等は、都市に身近な自然景観となっている	○標高が低く平坦な道央低地帯地形の中で、都市近郊型の農業が営まれており、都市住民に潤いをもたらす田園景観をつくり出している	○石狩平野、勇払平野の広がる道央低地帯の中に、小樽、札幌、千歳、苫小牧、室蘭等の都市群が連なり都市的景観を形成している。また、寒冷多雪な気候条件の中に都市人口が集中し、世界に類を見ない北方型都市圏を形成している	○高速道路や高架鉄道などがダイナミックな都市的景観を形成している	○積雪・寒冷地に200万人以上の人住む都市圏の存在は、北方圏の中でも特徴的である
景観づくり の課題	○都市生活に身近な原生自然の保全・管理・活用	○市街地に隣接する農地の景観整備	○寒冷多雪条件を配慮した建物及び公園、道路、住宅地等の整備と、北国らしい冬の都市景観の形成 ○都市景観・住宅景観における町中の緑の充実・管理 ○郊外の住宅地の乱開発による無秩序なスプロールの防止と景観制御	○沿道における都市緑辺部に集中する景観阻害要素・要因への対応。(乱立看板、周辺環境への配慮のない資材置き場、廃車・廃品置き場、採石場、生コンプラント等) ○高速道路、(高架)鉄道等による景観分離への対応。(前景修景、法面植栽、鉄道林の育成・保全等)	○都市生活における積雪・寒冷条件の克服
景観づくり の取り組み 方向	○札幌都市圏の身近にある野幌原生林などの森林景観を育み、保つ ○札幌都市圏の背景にある支笏洞爺国立公園においてダケカンバなどの高山植生や動物の自然景観を育み、保つ	○都市近郊にある田園地帯を市民農園や田園居住が行える都市交流型ゾーンとして位置づけ環境をととのえる	○札幌都市圏において高次都市機能の集積の中にアメニティ環境をつくる ○明治以降近代都市を形成した街区などの再評価と近代化遺産の歴史的な産業建築を活かした景観整備を行う	○新千歳空港、苫小牧フェリー港、小樽フェリー港、札幌駅など交通拠点周辺地区の景観づくりをすすめる ○道央自動車道、JR函館本線、国道12号など都市間交流軸の広域沿道景観づくりをすすめる	○積雪・寒冷条件に応じた北方型住宅地の整備と北国独特の生活を楽しむライフスタイルを創り出す